

件名：「高速増殖炉もんじゅ また「点検ミス」が発覚」

平成 28 年 7 月 22 日（金） テレビ朝日（ANN ニュース）

記事概要

- 高速増殖炉「もんじゅ」で原子炉を冷やすナトリウムを管理する補助施設でまた点検ミスが発覚した。
- 機構は今年 3 月までに点検する計画を立てていたが、期限が来ても点検を実施しなかった。
- 施設のシステムが警報を発していたが、職員は警報に気が付きながら 2 カ月間放置。
- 機構は原因究明と再発防止に努めたいと話している。

事実関係 概ね事実、一部事実誤認、誤報、その他

- 「A 1 次補助系予熱制御盤 2」\*の「分解点検（電解コンデンサー交換）」（安全重要度：クラス 3 以下、保全重要度：B）の安全性に関わる保全計画の点検期限は今年 5 月末であり、期限内に点検を終えています。
- 当該点検は、保全計画の点検期限を遵守する観点、業者への作業発注等の業務の観点から、平成 27 年度中（平成 28 年 3 月まで）に点検するよう対応すべきところ、担当者の誤った判断により、平成 27 年度の年度点検計画に盛り込まれていませんでした。
- また、担当者の交代に伴う引継ぎ不足等により、当該機器の他の点検とあわせて平成 27 年度中に当該点検を実施していると誤って認識され、平成 28 年度の年度点検計画にも盛り込まれていませんでした。
- 一方、保守管理業務支援システム（全ての機器の保全計画の管理システム）では点検期限である 5 月末が近づいている旨を知らせるアラートが 3 月から出ましたが、担当者は点検実施済みと誤って認識しており、点検実績の入力で近々アラート解除されると認識している状態がしばらく続きました。
- 機構は、この支援システムで 5 月末が点検期限の機器の点検実施状況を最終チェックしていた際に、実施されていない状況を確認し、その結果 5 月 31 日に点検を実施しました。
- 安全性に直結する問題ではありませんが、点検期限が近づいていることを知らせるアラートが出ていたにも関わらず、その対処のルール設定が不十分で点検が実施されなかったことについては、現在実施している原因究明と再発防止の結果を踏まえ、改善を図ってまいります。

\*） 「A 1 次補助系予熱制御盤 2」は、1 次冷却系の補助系のナトリウム配管等を加熱するための制御盤です。